

# 福祉生活病院常任委員会資料

(令和5年2月15日)

【件名】

- 新型コロナウイルス感染症陰性者のコロナ専用病棟への誤入院について…………… 2

病 院 局

## 新型コロナウイルス感染症陰性者のコロナ専用病棟への誤入院について

令和5年2月15日  
病院局総務課

県立厚生病院において、不整脈症状等で救急搬送された患者に対して行った新型コロナウイルス感染症のPCR検査結果を誤って陽性と取り扱ったことで当該患者をコロナ専用病棟に入院させ、適応外の抗ウイルス薬（レムデシビル）を投与した事案が発生しましたので、ご報告します。

### 1 事案概要

#### (1) 患者概要

鳥取県中部の70代男性患者（診療科：内科）

#### (2) 経過

- ・1月24日（火）正午過ぎに救急車で搬送（救急車受入時は外科医師が対応）。
- ・診察の結果、入院加療が必要な患者として、入院前のPCR検査を実施。
- ・検査結果は陰性であったにも関わらず、職員が誤って陽性と検査システムに入力し、その結果が電子カルテに反映される。
- ・内科医師は、誤った検査結果に基づきコロナ陽性者として、コロナ専用病棟での入院を決定し、抗ウイルス薬（レムデシビル）を投与。
- ・1月25日（水）午前10時過ぎに救急搬送時対応した外科医師がコロナ感染症の状態確認のため、PCR検査のCt値を検査室に求めたところ、誤入力が発見。

### 2 患者への対応状況

- ・1月25日（水）に改めて、PCR検査を実施して陰性を確認し、一般病棟へ転棟。
- ・主治医より、間違えてコロナ専用病棟に入院としたこと、適応外の薬剤を投与したことについて患者及び家族に謝罪。
- ・抗ウイルス薬の副反応の出現有無の確認のため血液検査を実施し、異常はないことを確認。その後も健康観察を継続的に実施。（現時点で健康被害は生じていない）

### 3 検査結果の誤入力の経緯

- ・本件の検査機器は、同時検査は1検体のみ可能なもので、その結果は、レシート状の紙で出力される。
- ・職員は、紙を基に検査システムに結果を「+」「-」で入力するが、その際、「-」と入力すべきところ「+」と入れたことが原因である。
- ・誤入力防止のため、検査システムの結果入力時と結果反映後にそれぞれ別の画面でレシート状の紙との照合を行うこととしていたが、その照合も不十分であった。

### 4 再発防止策

- ・PCR検査結果は速報性の観点から、原則として「+」「-」の結果のみを入力し、レシート上の紙と照合していたが、これの徹底に加えてCt値を入力することで、他職種が結果の整合性を確認するように改める。
- ・また、PCR検査機器と電子カルテシステムを連携して、検査結果を自動で反映させるためのシステム改修を行うこととしている。

### 5 その他

- ・他の誤入力事例がないか過去に遡ってレシート状の紙と検査システムの結果を確認したところ、誤入力事例はなかった。